

EALAI オープンセッション#2

UTCP 中期教育プログラム「近代東アジアのエキリチュールと思考」共催

ベトナム最後の科挙 1919年

～20世紀初頭におけるベトナムの漢文＝科挙教育～



フエ文聖廟、左右の碑にはグエン朝歴代進士の名が刻まれている (Wikipedia Commons より)

1919年、ベトナムの王都フエで東アジア最後の「科挙」が開かれた。大正デモクラシー、三・一独立運動、そして五四運動の時代に、「科挙」がなぜ、どのように実施されたのか。豊富な資料に基づき、植民地における教育「近代化」の視点から検討する。

報告者: Pham Van Khoai (ファム・ヴァン・ホアイ)
ベトナム国家大学ハノイ校人文社会科学大学准教授
(東京大学大学院総合文化研究科外国人客員研究員)

コメンテーター: 月脚達彦 東京大学大学院総合文化研究科准教授

日時: 2010年7月9日(金)午後6時～午後8時

場所: 東京大学駒場キャンパス 18号館 4階コラボレーションルーム 4

(京王井の頭線駒場東大前駅東口下車徒歩5分)

使用言語: ベトナム語・日本語(通訳あり)

事前申込不要 参加費無料

連絡先: 東京大学教養学部附属東アジア・リベラルアーツ・イニシアティブ(EALAI)

URL: <http://www.ealai.c.u-tokyo.ac.jp/>

e-mail: contact@ealai.c.u-tokyo.ac.jp